



# 自民党

## 府議会報告

vol. 56 6月定例会

### 平成30年度国の施策及び予算に対する要望活動

7月6日、政務調査会では三班に分かれ、農林水産省、国土交通省、文部科学省、経済産業省、内閣府、内閣官房、総務省、厚生労働省、衆議院議員会館、参議院議員会館にて要望活動を行いました。



### 政務調査活動



- 海士町における地域創生の取組について山内道雄町長から概要を伺う。「海・湖・風・塩」という地域資源を活かした産業振興策の展開について、また統廃合の戸籍際にあつた島前高等学校を全国から生徒が集まる魅力的な学校へと変革した取組について担当課から説明を聴取した後、町内の諸施設を見学(島根県海士町)
- 民俗文化財や伝統文化の保存・継承にかかわる取組について、また福地世界ジオパークを活用した地域振興の取組について調査(島根県隠岐の島町)
- 島根県議定にて、結婚・子育ての希望をかかなる社会づくりにかかる取組について、また山陰インバウンド機構の概要と運営状況など島根県の観光施策について調査(島根県松江市)

■ 京都府議会議長/村田 正治 ■ 団 長/ 巽 昭 ■ 代表幹事/石田 宗久 ■ 政務調査会長/渡辺 邦子  
 ■ 京都府監査委員/片山 誠治 ■ 副団長/ 荒巻 隆三 ■ 代表幹事/秋田 公司 ■ 広報委員長/尾形 賢

常任委員会				
<b>総務・警察</b>	<b>府民生活・厚生</b>	<b>文化・教育</b>	<b>環境・建設交通</b>	<b>農工商労働</b>
○ 荒巻 隆三 ○ 石田 宗久 ○ 林田 洋 ○ 近藤 永太郎 ○ 村田 正治 ○ 本田 太郎	○ 四方 源太郎 ○ 尾形 賢 ○ 植田 喜裕 ○ 秋田 公司 ○ 磯野 勝	○ 井上 重典 ○ 片山 中 ○ 田中 能勢 ○ 岸 本	○ 兎本 和久 ○ 小巻 寛志 ○ 菅谷 之湯 ○ 中川 貴由 ○ 藤山 裕紀子	○ 池田 正義 ○ 前波 健史 ○ 巽 昭 ○ 渡辺 邦子 ○ 園崎 弘道 ○ 中村 正孝

特別委員会				
<b>子どもの健やかな育みに関する</b>	<b>京都府行政の今後のあり方に関する</b>	<b>エネルギー政策</b>	<b>高齢社会の安心・安全対策</b>	<b>スポーツ振興</b>
○ 藤山 裕紀子 ○ 巽 昭 ○ 小巻 寛志 ○ 片山 誠治 ○ 尾形 賢	○ 菅谷 寛志 ○ 二之湯 真士 ○ 林田 洋 ○ 近藤 永太郎 ○ 石田 宗久 ○ 井上 重典	○ 能勢 昌博 ○ 磯野 勝 ○ 田中 貴由 ○ 池田 正義	○ 本田 太郎 ○ 岸 本裕一 ○ 植田 喜裕 ○ 荒巻 隆三 ○ 四方 源太郎	○ 園崎 弘道 ○ 前波 健史 ○ 渡辺 邦子 ○ 秋田 公司 ○ 兎本 和久

<b>議会運営委員会</b>	○ 石田 宗久 ○ 井上 重典 ○ 本田 太郎	○ 秋田 公司 ○ 尾形 賢 ○ 井上 重典	<b>政策調整会議</b>	○ 渡辺 邦子 ○ 四方 源太郎
<b>議会運営委員会改革検討小委員会</b>	○ 秋田 公司 ○ 磯野 勝	○ 尾形 賢 ○ 本田 太郎	<b>広報広聴会議</b>	○ 中川 貴由 ○ 園崎 弘道
<b>予算特別委員会</b>	○ 二之湯 真士 ○ 井上 重典		<b>京都府地方税機構議会</b>	○ 石田 宗久 ○ 荒巻 隆三

### 平成29年度6月補正予算の概要

総額 2億2,180万円

- ①緊急に対応が必要なもの
  - ◆「京都ワーク・ステイ」人材確保緊急対策事業費 4,980万円
  - ◆北近畿タンゴ鉄道緊急安全対策事業費 5,100万円
- ②事業計画に基づいて進めるもの
  - ◆京都アイスアリーナ(仮称)整備費 1億1,500万円 (他に債務負担行為 1億9,600万円)
- ③条例に基づく施策を推進するもの
  - ◆自転車安全利用推進費 350万円
  - ◆福祉就労製品魅力アップ事業費 250万円

6月定例会での質問項目の一部抜粋です。※京都府議会のHP (<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/index.html>) で録画中継をご覧になることができます。

#### 6月定例会 代表質問

### ☆京都府内の高速道路網の早期整備を☆京都スタジアム建設を☆人口減少社会対策は☆認知症対策は☆教育行政を問う

☆京都府内の高速道路網整備について  
山陰近畿自動車道大宮峠山道路の早期整備と峠山以西の早期事業化、そして残されたミッシングリンクの網野豊岡間ルートの決定を☆京都府内スポーツ施設整備について  
京都スタジアム(亀岡)・アイスアリーナ(宇治)は早期建設をすべき☆人口減少社会への対策について  
少子化対策…少子化対策基本計画実行など合計特殊出生率の向上を人口減少対策…生まれ育ったふるさとで働き育てができる地域創りで、交流人口拡大まで視野に入れ人口転出減少と転入増を目指す☆認知症対策について 京都式オレンジプランの有効な改定を☆教育行政について

巽 昭 (京丹後市)

### 人口減少と高齢化時代への対策

●「お茶の京都」 ターゲットイヤーの後、地域創生運動が持続するためには、地域の体制の進化が大事であり、施策の評価のために適切な指標を設定すべき。地域創生のコーディネーター役を、広域振興局に持たせたい。●民間活力導入 財政制約が強まる中、社会資本整備には民間活力を積極的に導入すべき。そのために、固定資産台帳の整備とオープンデータの活用が必要。市町村での導入推進のために、本府の一層の支援を。●シェアリングエコノミー 資源配分の最適化をたまたま仕組みであり有用。災害時にも効果を発揮するので、防災計画にも取り入れては? ●中小企業の生産性向上支援 ロボットやICT導入が必要だが、伴走支援員の育成が急務。従来の保護支援から、新陳代謝促進支援へ転換する絶好の時期。

中川 貴由 (八幡市)

### 森林整備と保全、由良川流域の総合的な治水対策、北部の「知の拠点」、働き方改革、自転車保険、文化財について問う!!

◎豊かな森を育てる府民税導入から1年が経過した。事業の実施状況や成果と評価について、また森林は、水源涵養機能からも行政による規制等の水源地域を守る必要があると考えるが! ◎危険度の撤去や治水対策単独の取組も支援、福知山市はじめ府内45カ所で取組を展開! 水源地域や水保のあり方は一定の規制も必要であり条例も視野に入れては! ◎弘法川・法川流域の浸水被害軽減に向けた概ね5カ年の治水対策は、本年度は折返の時期である。大谷川も由良川本川の緊急治水事業との調整がある。今後の進捗について伺う! ◎来年度からは、由良川への排水ポンプ整備に着手する、整備目標の1日も早い達成に向け取り組む!

井上 重典 (福知山市)

### 生前の意思を明確にする総合的な終活支援。京田辺市域を通る山手幹線の渋滞緩和と抜本的な対策を要望。

●生前の意思表示を関係者と話し合うアドバンス・ケア・プランニングの取組をどのように浸透させるのか一市町村や地域包括ケア構成団体と考えるきっかけを提供し、かかりつけ医やケアマネジャー等に専門研修を実施していく。終活として財産や葬儀の希望など多くの事柄を書き残すエンディングノートの推奨を要望 ●渋滞が緩和されない都市計画道路山手幹線の対策は→京田辺市域の右折レーン設置や案内標識対策を進める。今後も京田辺市と具体的な対策を検討する○北陸新幹線松山山手新駅へアクセスする道路計画にどのように臨むのか一駅の詳細な位置は決まっていなかったが、市道区間の府道への移管の必要性も含め検討する○八幡木津線の交通量を減らすため、宮下川開通に合わせた、大型車の誘導を要望

尾形 賢 (京田辺市・綴喜郡)

### 北区地域振興を①北山文化環境ゾーンの拡充と「京都学・歴史館」を媒介に②洛北地域の交通インフラ深化を通じて

京都の政治に与る者には長期を見据えての歴史的展望が必要。①北区の地域振興を練る場合の切り口の一つに、北山文化環境ゾーンの取組があります。室町将軍足利義満公の金閣造営を契機とする北山文化のレガシーを取り込みつつ、新府立総合資料館(京都学・歴史館)も当ゾーンの核として一層の発展を目指そうではありませんか! ②洛北地域の交通インフラ深化を考える際にも、先人の皆様の思いの尊さを感じます。昭和初期に、現在の観山電鉄二軒茶屋駅から上賀茂神社西辺を経て、現在の北大路駅の場所に至る鉄道敷設の計画がありました。戦争によって計画は実現していませんが、今もし営業運転されていれば、洛北地域の交通は便利の上ないものだったでしょう。このような歴史の重さを踏まえ交通拡充を!

岸本 裕一 (北区)

### スポーツ国際大会等の開催を契機としたスポーツ振興について 府有資産の活用について 新たな財源確保策について

●2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスターズゲームズに向けて、「見る」「する」「支える」スポーツに親しみ、スポーツのもつ多面的な力を発揮させていく必要があります。●京都府下には府有の遊休施設や遊休地がまだまだあります。下京区でも元図書館跡地や堀川跡地などニーズに応じた有効な活用を求めます。●ロンドンでは公共交通機関利用のフリーカードは、出国時に不要となったカードを回収し、保証金と残金を基金できます。この仕組みを文化財の修復等に置き換え、例えば、おこしやす京都カードとして観光客やインターネット等で販売し、回収したカードの保証料等を府・市・お寺の三者に配分しメリットをどのようにしてはどうですか。

小巻 實司 (下京区)

### 虐待や薬物から子ども達を守り、日本海側の津波・地震対策を充実させて、安心・安全な京都府をつくらう!

津波対策について 府北部地域の沿岸集落では、避難に時間を要し逃げ遅れが発生するため、避難を促すだけでは死者はなくなるという課題が浮き彫りになった。本府として今後どのように取り組むのか。児童虐待について 全国の児童虐待件数が過去最多となる中、重篤化を抑えるためには早期の発見対応が重要である。本府や市町村は早期発見や未然防止に向け、今後どのように取組を進めるのか。また市町村の役割が増す中、本府はどのように支援していくのか。子どもの薬物乱用防止対策について 薬物乱用が低年齢化し、小学生にまで及ぶ問題となっている。警察のアンケート結果では、薬物の恐ろしさについての認識が不十分であったが、子ども達にしっかりと認識させるため、どのような取組が必要と考えるか。

石田 宗久 (左京区)

### ①府立木津川運動公園・府南部インフラ整備 ②エコ&ヘルス住宅 ③特別支援学校の体育館・運動場の地域開放

●京都府立木津川運動公園(北側ゾーン)を総合的な公園へと位置づけ、城陽市と府民の求める公園とは何かを考える場を持ち、フットサル場、キャンプ宿泊のグランピング、乗馬クラブといったレジャー・アミューズメント施設等の民間活力を引き出し、新名神高速全線開通の平成35年までに公園整備を! ●入浴中の心臓停止による死者数は、年間約19,000人(交通事故死者数は約4,000人)。ヒートショックによる死亡リスクは4倍以上。断熱性能を上げるリフォームは、健康増進につながり、医療費削減も期待でき、断熱住宅化へのリフォームに対する補助制度の創設を。●障がいを持たれた方や地域住民に、身近にある特別支援学校の体育館・運動場を開放し、様々なスポーツに親しめる交流事業をより積極的に!

園崎 弘道 (城陽市)

### 誰でも参加できるシニアスポーツの世界的祭典「ワールドマスターズゲームズ2021関西」開催に向けた取組について

●4年後、関西一円で約5万人の参加を目指す本大会は「観る」「応援する」だけでなく自ら選手やボランティアとして参加可能。また大会の特長として競技の前後に多くが観光を楽しめるので、京都市での開会式前に京都府内各地への観光誘致や、府内10種目の競技開催地との連携・PR等、多くの課題にどのように取組むか? ●京都市伏見区の京都府保健環境研究所と、京都市衛生環境研究所の府市共同建設整備を機に、公開講座の充実やボランティアの募集等、大学とも連携した「地域に開かれた研究所」を目指す取組を! ●多くの飲食店で緑茶は無料で提供され、有料はウーロン茶が大半を占めているが「お茶の京都」をきっかけに、上質な宇治茶を注文して飲む事が当たり前になるような働きかけが必要ではないか。

わたなべ 邦子 (伏見区)

### 皆様の声を府政に届けるため、28名全力で頑張っています!! 私たちに、ご意見・ご要望をお聞かせください。

